

# The 66th Republic Day of India 第66回インド共和国記念日



1950年1月26日、インドでは、共和国憲法が公布されました。それから65年を経た今日でも、この記念日を祝って、さまざまな記念行事がインド各地で行われています。昨年の記念式典には、安倍首相が招待されました。さらに9月には、モディ印首相が来日されたりと、両首相はお互いの国を行き来し、日本とインドの友好を深めています。日本とインドの両国にとって、これまで以上に強力なパートナーシップが図られています。

駐日インド大使  
ディーパ・ゴパラン・ワドワ  
Deepa Gopalan Wadhwa



流通産業を開発し、世界市場における競争力を獲得して下さいますよう、お呼びかけいたします。

昨年はまた、印日関係にとっても目覚ましい1年となりました。2014年1月26日、安倍首相はニューデリーで行われた共和国記念日パレードに主賓として参加されました。日本の首相が主賓として招待されたのは初めてのことでした。モディ氏は首相就任時に印日関係の重要性を指摘し、日本を南アジア地域外の最初の外遊先にすると言明し、実際に就任後100日以内という早い時期に来日を果たしました。9月1日の首脳会談後に発表された共同宣言により、印日関係を「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」へ格上げすることが決定されました。また両首相は、今後5年間で3兆5000億円の日本からインドへの官民投資と資金供給を実現するための画期的な「印日投資推進パートナーシップ」の立ち上げを発表しました。この推進策においては、今後5年間でインドにおける日本企業の数が増加するという目標も掲げられています。

2014年度、インドにおける日本企業数は、前年度の1072から13パーセント増の1209となり、事業所数は前年度の2542から56パーセント増の3961となりました。日本企業へのインドに対する前向きな認識は、国際協力銀行によって2014年11月に発表された調査において、日本の投資家がインドを最も有望な中期投資先として選んだことにも表れています。同銀行が1989年にこの報告書の作成を開始して以来、初めての快挙でした。

人的交流をさらに活発にし、国民同士の相互理解を深めようという両首相の呼びかけに呼応するため、在東京インド大使館は、インド文化の粋をお伝えする、1年間にわたるフェスティバルの開催を決定しました。2014年10月27日、シュリパッド・イエツッ・ナイーク文化観光大臣と太田昭宏国土交通大臣のご参加のもと、「日本におけるインド・フェスティバル 2014-15」の公式な開始式が執り行われました。私たちは、両国の文明的な繋がりと、文化を守り後世に伝える女性の重要性を象徴するため、弁財天と女神

サラスヴァティをあしらったロゴを採用しました。2014年10月、インド舞踊の20回以上の講演が日本の20都市で行われました。他には、3月17日から5月17日まで東京国立博物館で行われる特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏教美術の源流」や、文学、映画、インド料理に関するフェスティバルが予定されています。印日両国の友人の皆様には、是非御参加くださいますよう、ご招待申し上げます。最新情報はインド大使館のホームページまたはフェイスブックをご覧ください。

もっと多くの日本人観光客の皆様へお越しいただくため、ビザ発給制度を自由化しました。現在日本人観光客の皆様は、オンラインで申請・取得が可能なので、到着時ビザ発給制度をご利用いただけます。広く知られている仏教聖地巡礼ツアーや「黄金の三角形」地帯に加え、年間を通じて涼しい気候が続くダージリン、マナリ、ムスーリー、ウーティーなどの夏の観光に適した丘陵地帯には、数多くの景勝地があります。

私たちは日本との友情に高い価値を置いています。日本でも2014年12月に総選挙が行われ、安倍晋三首相率いる政府が人々の新たな信頼を得て政権を再び握り、経済強化に乗り出しています。両国における強力なリーダーシップを発揮する強い政府の存在は、印日関係の更なる強化にとって幸先が良いと言えます。私たちは、インドと日本の持続的・共存的な政治、戦略、経済、文化における関与をより確実にするために、両国をさらに強固な絆で結びたいと望んでいます。2国間の国民の間に、互いに対する尊敬、理解、感謝に基づく、より丈夫な架け橋を築くことが、私たちの一番の願いです。



インド大統領  
プラナーブ・ムカジー  
Pranab Mukherjee



インド首相  
ナレンドラ・モディ  
Narendra Modi

公益財団法人日印協会  
代表理事・会長

森 喜朗  
Yoshiro Mori



第66回インド共和国記念日に際し、日印協会を代表し、インド政府並びにインド国民の皆様へ心からお慶びを申し上げます。昨年5月、インドにおいてモディ首相を首班とする新政権が発足し、12月には、日本においても衆議院の総選挙の結果第3次安倍内閣が誕生いたしました。双方とも国会の下院において圧倒的な多数を確保し、強力かつ安定した政権となりました。親日家と知られるモディ首相とインドを重視する安倍首相は、アジアの安全保障について共通の認識をもっているほか、アベノミクスとモディノミクスは経済成長、規制緩和などの面で双子のように似たところがあります。モディ首相は、南アジア以外では最初の二国

日本は今、大きな転換点に立とうとしています。長く続いたデフレからの脱却が現実のものとなるか否か、実質賃金の向上によって内需主導の景気回復が実現するか否か、そして「為替レートに左右されない強いモノ作り大国日本」が定着するか否か、です。

しかし一方で、日本では若年労働力の不足による労働需給ギャップの深刻化が問題となっており、生産拠点の国内回帰を進めていく事が得策であるか、疑問が残ります。

こうした内外情勢の中でこそ注目頂きたいのが、「THE MAKE IN INDIA」プロジェクトです(www.makeinindia.com/)。互いの国民感情が長期に亘って良好で、世界第二位の就労人口・消費人口を持ち、実質賃金は中国の1/4に抑えられているインドであれば、日本の製造業が生産拠点を置くメリットを充分に享受する事ができます。

経済面だけに留まらず、政治的にも、軍事的にも、そして文化的にも真のパートナーとなる、戦略的互恵関係を結ぶことができる数少ない貴重な国です。

訪問先として日本を選び、日本重視の姿勢を内外に示しました。8月末から9月初めにかけての滞日中、安倍首相との首脳会談において、これまでの「戦略的グローバルパートナーシップ」から精神的なつながりをも強調した「特別戦略的グローバルパートナーシップ」に格上げしました。日印協会も、日印友好議員連盟と共催で、モディ首相歓迎会を盛大に執り行いました。

本年もインドは力強く発展し続けるものと思いますが、わが国においても、政治的安定の下でデフレからの脱却と経済成長、地方の活性化、少子高齢化対策や女性の活用などが進むものと期待されています。日印関係は、このような両国政府の祝福と支援の下で、多方面において画期的な進展を遂げるものと思われたい。

日印協会は本年112周年を迎えますが、皆様とともに、アジアひいては世界を担う日本とインドの関係強化のために努力を続ける所存です。

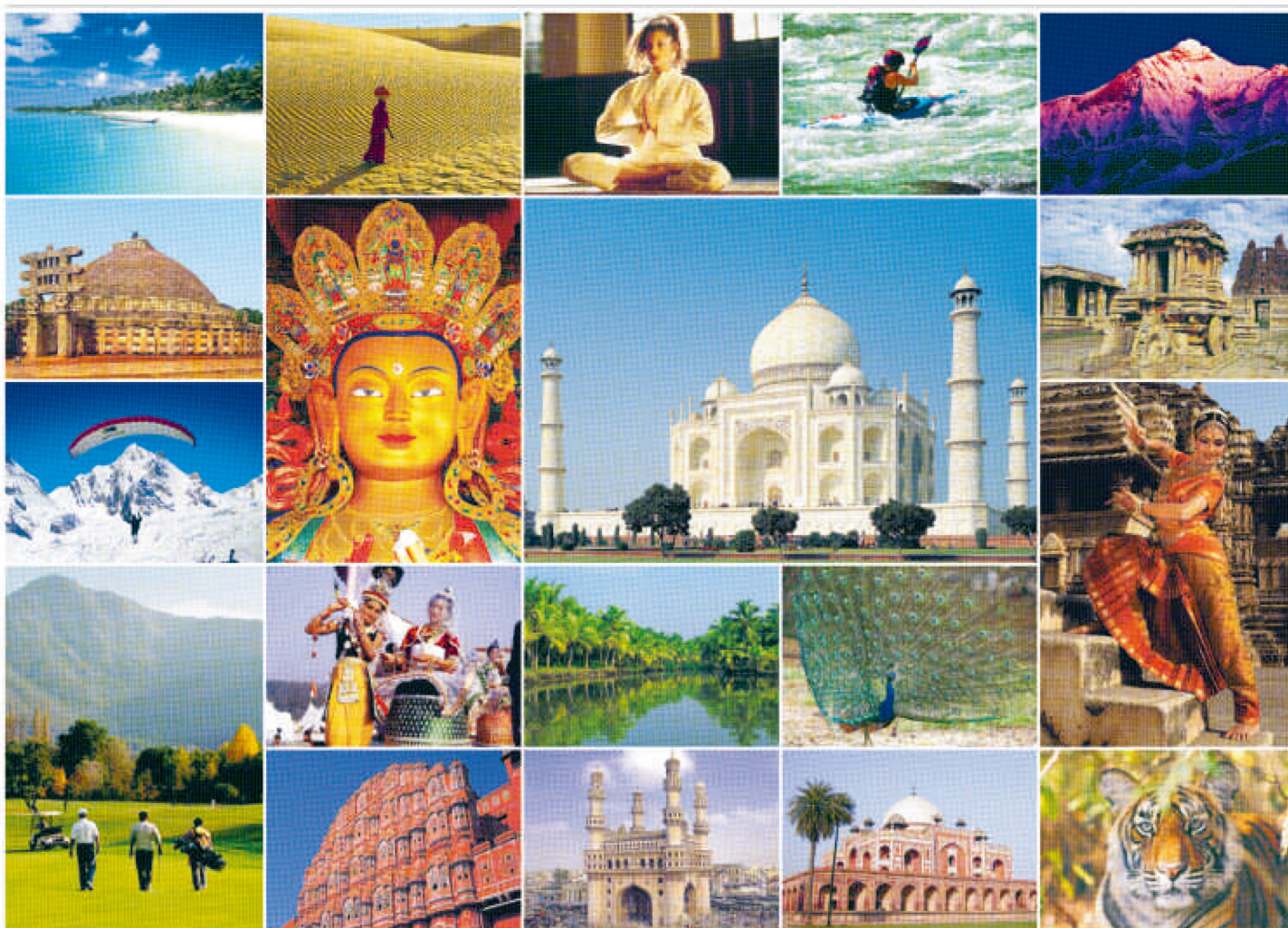
最後に、この機会に、偉大な両国民の幸福と国際社会全般の平和と繁栄を祈念いたします。

在日インド商工協会  
理事長  
比良竜虎  
Ryuko Hira



「THE MAKE IN INDIA」プロジェクトを理解して頂くべく、本年11月～12月に、日本の主要20都市、5000社の製造業の皆様を対象に、セミナーを開催する予定であります。このセミナーを通じて、インド進出に必要な情報を得、それが互いの利益と成功に繋がる事を実感して頂く契機となれば幸いです。

インドに生まれ、日本に帰化した私にとって、インドと日本の製造業の共同企業活動が発展し、こうした良好な経済関係が、両国の信頼と友情を深め、血の通った高貴な日印同盟へと花開き、ひいては、アジア地域における日本に対する信頼と善意を深めていくことこそが至上の喜びであり、その実現を願ってやみません。最後に、共和国記念日を心よりお祝い申し上げます。



Nobody covers India like Air India  
成田・関西よりデリーへエア・インドのドリームライナーをお楽しみください

いい旅、いい宿、出会いの始まり  
HMI ホテルグループ  
全国に7つのブランドで展開する7つのおもてなし  
ホテルマネージメントインターナショナル株式会社  
www.hmi-hotel.co.jp

ICIJ 公益財団法人 在日インド商工協会  
THE INDIAN COMMERCE AND INDUSTRY ASSOCIATION JAPAN  
www.icij.jp  
インド料理レストラン  
ムンバイ グループ  
www.mumbai.co.jp

MITSUI & CO.  
三井物産株式会社 www.mitsui.com/jp

Find what you seek  
Incredible India 驚きの国 インド  
インド政府観光局  
Indiatourism, Tokyo  
E-mail: indtour@smile.ocn.ne.jp  
Website: http://www.incredibleindia.org

株式会社ジュピターインターナショナル  
コーポレーション  
http://www.jupiter-int.co.jp/

総合商社の、つぎへ  
三菱商事  
www.mitsubishicorp.com